

SDGs新聞

築野グループ株式会社

もっと知ってみよう！お米のすごさ

# SDGsラジオを読んでみよう！

みなさん、朝ごはんは食べてきましたか？お米を食べてきた人も多いですね。

お米は、小麦とうもろこしと並んで「世界三大穀物」のひとつなんです。でも今、日本ではお米を食べる人や育てる人が減ってきています。

そこで、お米のチカラを伝えようとしているのが米ぬかを科学する会社「築野グループ株式会社」です。

築野グループでは、こめ油や米粉をつかった料理教室を開いたり、インターネットを通してたくさんの人にお米の魅力を伝えています。

さらに、お米からスイーツや化粧品といった新しい商品をつくり出したり、世界中の人たちと「お米のことを話し合う会」もおこなったんですよ。

お米の新しい使い道を考えたり、世界の人たちに魅力を伝えることは、食べる人や育てる人を増やし、お米の未来を守ることにつながります。

まずは、みなさんは、毎日のごはんをしっかり食べましょう。きっと、お米の未来につながっていくはずですよ。

# SDGsラジオの内容を、もっと詳しく知ろう！



お米は、日本の食に欠かせない大切な食べ物です。世界でも、お米は小麦やとうもろこしと並んで「世界三大穀物」とよばれています。お米は、日本で自給自足できるたったひとつの穀物で、日本の土地や気候にあっているため、昔からずっと育てられてきました。しかし今の日本では、食生活の変化などがあり、お米を食べる人が減っています。また、都会に住む人が増え、農村ではお米をつくる人の多くがお年寄りになり、お米を育てる人が少なくなってきました。

そこで、米ぬかを科学する会社「築野グループ株式会社」では、お米を未来につなげていくために、さまざまな取り組みをしています。

画像参照：お米の無限の可能性イメージ(つの食品HPより)



画像参照：シンポジウムの様子(築野食品工業HPより)

築野グループではたとえば、こめ油を使った料理教室を開いたり、お米に関するさまざまなことを発信する「これこれお米」という情報サイトを運営して、たくさんの人にお米の魅力を伝えています。また、こめ油や米粉を使ったパンやスイーツをつくったり、米ぬかを化粧品に生まれ変わらせたりと、新しいお米の使い方を考えてカタチにしています。さらに、お米の研究がもっと活発になるように、せかいひととこめを話し合う「お米の未来を考えるシンポジウム」も開いています。このように、お米の新しい使い道を広げ、世界へ魅力を発信する築野グループの取り組みは、お米を食べる人や育てる人を増やし、未来へつなげる力となっていきます。お米には無限大の可能性があります。みなさんもぜひ、お米のすごさについて調べてみてください。そして、毎日のごはんをしっかりと食べましょう。そのことが、お米の未来につながる小さな一歩になるはずです。

## キーワード

世界三大穀物

人間の主食のもとになる植物のことを「穀物」といいます。世界でたくさんつくられていて、人々の食に欠かせない穀物であるお米・小麦・とうもろこしが「世界三大穀物」とよばれています。

自給自足

自分たちでつくった食べものを、自分たちで食べてくらすことです。

シンポジウム

たくさんの人が集まって、あるテーマについて発表したり話し合ったりする会のことです。

## 対象ゴール



みなさんにできること！

お米の未来を守るために、まずは毎日のごはんをしっかりと食べましょう。

おさらい

- お米は、世界三大穀物のひとつである。
- 日本では今、お米を食べる人や育てる人が減ってきている。
- 築野グループでは、お米を未来につなげていくためのさまざまな取り組みをしています。

## メモ

